

# 新ごみ処理施設に関する事務の進展について

吉見町長 宮 崎 善 雄

新ごみ処理施設を巡る広域協議について、現状を報告します。

本件は、町の主要事業の一つであることから、説明会を開催し、町民皆さまと直接お会いして、現状をお知らせすべきところですが、コロナ禍であり、集会を最小限に留める必要があることから、以下のとおり、書面でのご報告といたしました。ぜひ、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

## 1. 埼玉中部環境保全組合の枠組みで勉強会がスタート

吉見町は、先に作成しました「新ごみ処理施設建設の事務に関する検証」を踏まえ、鴻巣市、北本市で取り組んでいる「新ごみ処理施設に関する勉強会」への参加を申し入れ、両市に快諾いただく中、4月16日開催の同勉強会へ出席しました。会議では、両市による5回の勉強会の協議内容などについて報告を受けるとともに、今後の会議の進め方などについて話し合いを行っています。

これにより、改めて埼玉中部環境保全組合を構成する2市1町（鴻巣市、北本市、吉見町）の枠組みでの勉強会がスタートしました。

## 2. 2市1町の首長会議を開催

吉見町が加わり、改めて勉強会がスタートした中で、5月27日に、鴻巣市長の呼びかけで、2市1町の首長による「ごみの広域化に関する今後の方向性について」話し合いが持たれました。会議では、埼玉中部環境保全組合の枠組みである2市1町の連携協力の下、新ごみ処理施設の協議をより積極的に取り組む事などが確認されました。

## 3. 鴻巣市長、北本市長の連名で吉見町長宛に提案がなされる

2市1町の首長会議の後の6月3日には、鴻巣市長、北本市長の連名で、吉見町長に対して、新たなごみ処理施設の整備促進に関する基本的な考え方についての提案がありました。内容は次の3点です。

【提案1】 鴻巣市、北本市、吉見町の2市1町による埼玉中部環境保全組合の枠組みで、新たなごみ処理施設の整備促進を図っていく。

【提案2】 新たなごみ処理施設は、鴻巣市郷地安養寺地区を建設候補地として進める。

【提案3】 「新ごみ処理施設に関する勉強会」に関して、埼玉中部環境保全組合の職員にオブザーバーとして参加いただく。

#### 4. 鴻巣市、北本市からの提案に対する現時点での考え方

町では、鴻巣市、北本市からの提案に対する現時点での考え方を次のとおりまとめましたので、町民皆さまへ説明します。なお、町議会へは、6月15日に開催の議会全員協議会で説明しました。

##### 【提案1について】

広域行政（複数の自治体が共同で事務を行う）の手法でごみを処理することで、事務の効率化が図られること。埼玉中部環境保全組合の枠組みでのごみ処理には確固たる実績があり、構成市町のごみ処理を巡る基本的な考え方が一致していること。などから、重要な選択肢であるとの認識です。

##### 【提案2について】

埼玉中部環境保全組合の枠組みで、検討するというのであれば、北本市には、北本地区衛生組合（し尿処理）があり、本町では38年間、鴻巣市、北本市、吉見町のごみを処理してきたという実績があります。

このような中、現ごみ処理施設が立地している地元との約束により、新たに建て替えができないという現状を鑑み、鴻巣市が北本市と連名で、鴻巣市内の建設候補地を提案して下さったのは、ともにごみ処理を行ってきた2市1町の信頼関係の証であり、意義深いことであると考えます。こちらも重要な選択肢であるとの認識です。

##### 【提案3について】

今後、この勉強会が進展すれば、埼玉中部環境保全組合の事務となることが想定されることから、その準備として、必要なことであるとの認識です。

以上、現時点の町の考え方を説明させていただきました。今後、2市1町の勉強会を重ねる中で、また、町民皆さまのご意見等を参考に、この提案に対する町の考え方を定めていきます。

冒頭でも申し上げましたが、コロナ禍であり、町民皆さまへの状況報告等には、工夫が必要ですが、適宜、進めていきますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

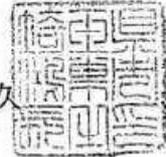
令和3年6月25日

連絡先 吉見町役場 環境課 電話 54-7811

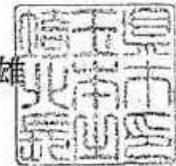
鴻環第193号  
北市環発第1011号  
令和3年6月3日

吉見町長 宮崎善雄様

鴻巣市長 原口和久



北本市長 三宮幸雄



新たなごみ処理施設の整備促進について

初夏の候、貴職におかれては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
鴻巣市及び北本市では、埼玉中部環境センターの老朽化に鑑み、昨年10月から「新ごみ処理施設に関する勉強会」を開催し、今後のごみ処理のあり方について調査検討を続けてまいりました。

そのような中、4月16日（金）に開催した第6回の勉強会に際し、吉見町が参加いただいたことによりまして、埼玉中部環境保全組合を構成する2市1町での開催となったことは、誠に意義深いことと認識しております。

これを契機に、今後は鴻巣市、北本市、吉見町が、一致団結し、新たなごみ処理施設の整備に取り組むことが、より多くの成果につながるものと確信しております。また、5月27日（木）には、宮崎町長にも出席いただき、貴重な意見交換の機会を持つことができました。

つきましては、5月27日（木）の会議を踏まえ、吉見町を含めた今後の新たなごみ処理施設の整備促進に係る基本的な考え方につきまして、下記のとおり提案させていただきます。吉見町のご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 鴻巣市、北本市、吉見町の2市1町による埼玉中部環境保全組合の枠組みで、新たなごみ処理施設の整備促進を図っていく。
2. 新たなごみ処理施設は、鴻巣市郷地安養寺地区を建設候補地として進める。
3. 「新ごみ処理施設に関する勉強会」に関して、埼玉中部環境保全組合の職員にオブザーバーとして参加いただく。